



水産情報速報版

H18.12.28 1224
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行=指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 19年度予算概算額が閣議決定 2,499億2,600万円

農林水産省の平成19年度予算概算額が12月24日、一般会計2,499億2,600万円(前年度比97.4%)で閣議決定しました。

水産関係は非公941億3,300万円(同102.8%)、公共1,557億9,300万円(同94.3%)となりました。復活要求していた「もうかる漁業創設支援事業」は31億円で、これは地域・グループごとに省エネ・省人・省力化、高鮮度・高品質化など、収益を改善するアイデアを導入する漁船に対し、3年間これをチャーターして収益性を実証化するものです。また、国産水産物安定供給事業(市場統廃合、買参人自由化など)14億円が大臣折衝で復活するなど、構造改革に向けた施策が認められ、非公分野では前年を上回りました。

注目の事業として、漁業者や地域が官民を連携したプロジェクトを立ち上げ、収益性向上を目指した事業に取り組む、漁船漁業構造改革総合対策事業に50億円が計上されたほか、漁船漁業改革に取り組む担い手に資金調達を支援する、担い手漁業経営改革支援リース事業、合理化・スリム化をする漁船の減トン分に応じて助成する漁船漁業再生事業などの予算が計上されました。

また、このほかの新規事業としては、経営安定対策対応オンラインシステム開発、水産物流通構造改革、フロンティア漁業整備、漁業保全の森づくり、大型クラゲ等有害生物被害防止総合対策、環境・生態系保全活動支援調査・実証などの予算が計上されました。

2. 平成17年の県内漁業・養殖業生産額は543億6,500万円、7%減少

関東農政局静岡農政事務所(統計部)ではこのほど、平成17年(1~12月)の静岡県の海面漁業・養殖業生産額を発表しました。

それによると県内の海面漁業・養殖業生産額は543億6,500万円で、前年に比べ39億1,200万円(7%)減少しました。

海面漁業のうち遠洋漁業は漁獲量が増加したものの、前年上昇したカツオやマグロの価格が低下し、218億6,800万円で前年に比べ32億3,700万円(13%)減少し、沖合漁業は125億4,700万円で、前年に比べ30億2,100万円(21%)減少しました。

また、沿岸漁業は前年不漁のシラス船曳網の漁獲量が増加したことなどにより174億9,700万円で、前年に比べ30億2,100万円(21%)増加しました。

海面養殖業は、前年の台風被害で減少したマアジ・マダイ養殖等魚類養殖業で収穫量が増加したことにより24億5,300万円で、前年に比べ8,900万円(4%)増加しました。

海面漁業の主要魚種別生産額は次のとおりです。 マグロ類: 148億8,500万円(前年比22億5,900万円(13%)減) カツオ: 122億7,700万円(同34億3,000万円(22%)減) シラス: 57億9,100万円(同28億2,100万円(95%)増) サクラエビ: 44億1,500万円(同2億1,100万円増) サバ類: 30億5,600万円(同7億9,600万円(12%)減)

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. 18年度第2回太平洋イワシ・アジ・サバ長期漁海況予報を発表

水産総合研究センター・中央水産研究所ではこのほど、平成18年度第2回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報(平成19年1月~6月)を発表しました。

海況: 潮岬以東の黒潮は33°N付近を東進し、八丈島付近を通過した後、蛇行しながら東へ流れる離岸傾向の流路パターンが継続します。

沿岸水温は、潮岬以西が「平年並み」~「高め」で小蛇行通過時に「低め」、潮岬~犬吠埼が「平年並み」~「低め」で暖水波及時に「高め」、伊豆諸島北部海域が「低め」~「極めて低め」で短期的に変動し、犬吠埼以北が「平年並み」~「高め」で親潮系冷水南下時に「極めて低め」で推移する。

マサバ・ゴマサバ(伊豆諸島周辺海域/棒受網、たもすくい) = 来遊量/マサバ2歳魚は前年を下回り、3歳魚は前年を上回り4歳以上は少ない。ゴマサバ1歳魚は少なく、2歳魚は前年を大きく下回り、3歳魚は前年を上回り4歳以上は少ない。 漁期・漁場/マサバは伊豆諸島北部海域が主漁場となる。ゴマサバは期を通じて三宅島周辺が主漁場となる。 魚体/マサバは31~36cm(3歳魚)が主体となる。ゴマサバは28~36cm(3歳魚)が主体となる。

マイワシ(伊勢・三河湾~相模湾/まき網、定置網、船曳網) = 来遊量/低水準であり、伊勢・三河湾では前年並み。駿河湾並びに相模湾では前年を下回る。 漁期・漁場/全期間散発的な漁で終始する。 魚体/伊勢・三河湾では15~19cm(1歳魚)と6~13cm(0歳魚)。駿河湾並びに相模湾では15~19cm(1歳魚)主体で19~21cm(2歳魚)が混じる。

4. 海技免状更新講習・失効再交付講習会のお知らせ

海技免状の有効期間満了(満了日の1年前から満了日までの間の1年間)に際し、所定の更新手続きを行うことにより、引き続き5年間有効とする更新講習及び、失効した海技免状の効力を回復するための失効再交付講習会が、平成19年1月より下記のとおり開催されますのでお知らせします。

開催日	開催時間	市町村	会場	種別	更新	失効
1月14日	18:00	浜松市	浜松市福祉交流センター	小		
1月23日	13:30	静岡市	清水テルサ	小		
2月 3日	18:00	浜松市	浜松市福祉交流センター	小		
2月15日	13:30	静岡市	清水テルサ	小		
〃	15:00	〃	〃	航		
〃	〃	〃	〃	機		
3月 4日	18:00	浜松市	浜松市福祉交流センター	小		
3月15日	13:30	静岡市	清水テルサ	小		

注) 講習予定は(会場・開催時間等)変更する場合がありますので、予め電話等で問合せ下さい。 問合せ先: 日本船舶職員養成協会中部支部 TEL:052-653-1558

5. 会議・日程(1月2日(火)~1月15日(月))

- 既報分省略 -

1月15日(月) 〃 = 県協同組合間提携推進協議会事務局会議 (県農業会館)

- お知らせ - 本紙次号発行は、年末年始につき明年1月12日(金)となります。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう